

国際文化演習ブロック大学 報告書 2012



北海学園大学人文学部





北海学園大学
人文学部長
安酸 敏眞

ブロック大学英語研修のすすめ

——『国際文化演習報告書』の発行に寄せて——



英語を使いこなせるということは、今日のようなグローバルな時代には、ビジネスや外交の現場でも、あるいは学問の世界でも、いまや必須要件となっています。しかし一般的には、中学・高校・大学と学んできても、あまり使えるようになりません。カナダのブロック大学で行われる国際文化演習は、こういう現実を大きく打開して、英語を実用的に使うための第一歩ですし、また使える英語の習得が主目的でもあります。

しかし国際文化演習の目的は、「外国語としての英語」に習熟することに尽きるものではありません。異文化体験を通して、われわれは外国の文化や価値観に眼が開かれると同時に、自分自身や自国の文化を再認識するはずで、無国籍の国際人などは存在しません。真の国際人は必ず自分がよって立つ存在基盤（歴史や伝統）をしっかり認識しているものです。ゲーテは「外国語を知らない者は自国語についても無知である」と言いましたが、「異国にあった者が初めて自国の何たるかを知る」という箴言もあります。母国語が通じない異国の地で暮らしてみると、一方で「ところ変われば品変わる」と思い、他方ではときに「いずこも同じ秋の夕暮れ」と感じるものです。

大事なことは、自己閉塞にも自己喪失にも陥らず、自己と他者、自文化と他文化を相関させつつ、つねにより深い自己理解および他者理解を目指して努力することです。「国際文化演習」がその良ききっかけとなることを祈念してやみません。



Kim Meade
Vice-Provost
& Associate
Vice President,
Student Services,
Brock University

Celebrating over a decade of friendship



I am very pleased to take this opportunity to offer my thoughts, and to celebrate the long-standing and friendly relationship between Brock University and Hokkai-Gakuen University.

Here at Brock, there is no doubt that there have been many changes since our collaboration began in 1999. We have enjoyed one of the highest enrolment growth rates of any Canadian university, and in the present year, we are home to 18,000 full-time students pursuing undergraduate, graduate and doctoral degrees. At the same time as our enrolment has grown, we have also increased to almost 80 the number of programs in our faculties of Applied Health Sciences; Business; Education; Humanities; Mathematics and Science; Social Sciences; and Graduate Studies.

Brock has also seen an increase in the number of international partnerships it has around the world, our goal being to develop long-lasting joint ventures with institutions worldwide in order to create valuable study, teaching and research opportunities. To that end, I had the special honour of travelling to Japan some years back in order to officially celebrate three of our partnerships there, and in particular to visit Hokkai-Gakuen University in order to see firsthand the beautiful city of Sapporo, and to enjoy your Yosakoi Festival. This opportunity reminded me that both of our universities are much more than places to study, but we are also heavily committed to offering enriched, safe, inclusive environments where students can form new friendships, gain valuable extracurricular experiences, and become part of vibrant communities.

In fact, on the topic of how our communities have been enriched through our partnership, we at Brock have been continuously honoured by the presence of students from Hokkai-Gakuen over the past 13 years, not least because Hokkai-Gakuen students have brought much enthusiasm and energy to our sprawling campus. Moreover the Hokkai-Gakuen students are always the favorites of our teachers and staff in ESL Services, and whether it is the Brock Days Grape Stomp, an ice hockey game at our city arena, or just a tour of the Niagara Region, the Hokkai-Gakuen University students have become most enthusiastically involved in all aspects of university and local life during their all-too-short stays with us.

So it is my fondest hope that as we prepare for our 50th anniversary celebrations, we will continue to build on and develop our international friendship with Hokkai-Gakuen University long into the future.

ブロック大学及び St.Catharines 市の紹介

St.Catharines 市

カナダオンタリオ州南西部に位置するセントキャサリンズ市（City of St.Catharines）は、ナイアガラ地域では最も大きな都市です。果樹園やぶどう園、ゴルフコース、史跡などに囲まれ、緑あふれる景観から、ガーデン・シティ（The Garden City）とも呼ばれています。手入れのゆきとどいた美しい公園と、200を超える温室があり、カナダの温室産業の基地ともなっています。

トロントからは車で1時間、ナイアガラの滝には20分弱と近く、ナイアガラ観光に適した都市でもあります。また、トロントとアメリカのバッファローの中間という位置でもあり、アメリカからも多く訪れます。ワイナリーは45以上と言われ、カナダ最大のワイン産地としても知られています。



セントキャサリンズ市



ブロック大学

ブロック大学とは

ブロック大学は、上記セントキャサリンズ市にある総合大学で、1964年の設立です。大学名は、1812年の戦争（War of 1812）の軍功で名高いアイザック・ブロック（Isaac Brock）の名にちなんでいます。中規模ながら充実した学術プログラムが国際的にも評価され、応用健康科学部、経営学部、教育学部、人文学部、数学科学部、社会科学部及び大学院が設置されています。各種受賞経歴のある教授陣による教育や、実践的な少人数セミナー、また、最先端の運動競技施設を備えていることも特徴です。オンタリオ州では高い就職率でも知られ、これまでに70,000人以上の卒業生を送り出しています。卒業生の活躍は、カナダ国内にとどまらず、世界各地に広がっているそうです。また、留学生向けには英語集中講座などがあります。

※ブロック大学公式HP <http://www.brocku.ca/>

Contents

- | | | | |
|------------------------------------|------------------|----------------|----------------|
| ① … 挨拶 | ④ … 国際交流委員会からの情報 | ⑦ … ブロック大学研修報告 | ⑬ … Why Brock? |
| ② … ブロック大学及び
St.Catharines 市の紹介 | ⑤ … ESL 授業 | ⑧ … 海外研修事業の歴史 | |
| ③ … 海外研修事業の概要 | ⑥ … アクティビティ | ⑨ … 参加者エッセー | |

海外研修事業の概要

ブロック大学と本学とは 2000 年に交流協定を締結し「国際文化演習」を実施しています。以下、その目的と特徴を記しておきます。

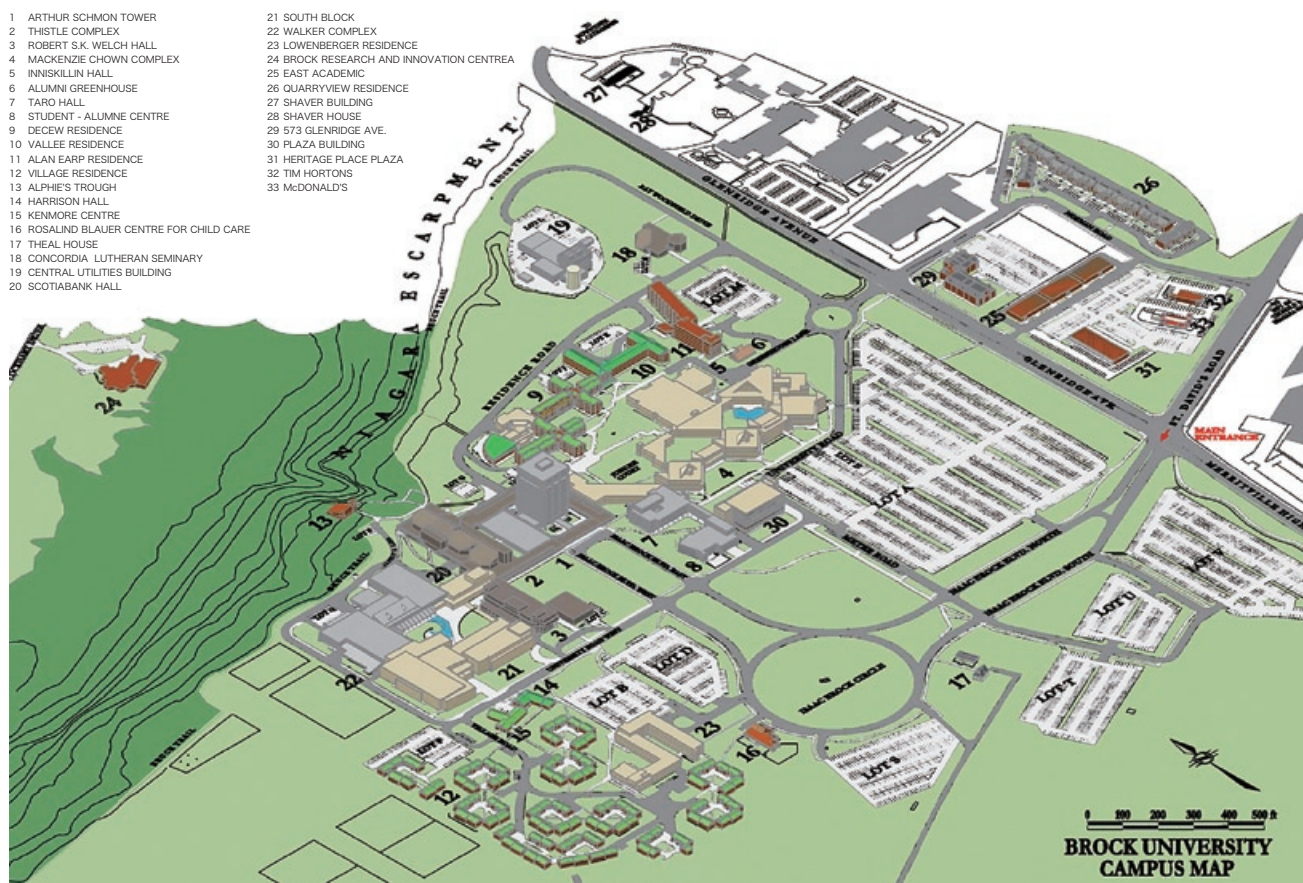
今日は、社会の多文化化にともない、日常語としての英語の普及および実践的な多文化適応力の養成が要求されています。「国際文化演習」ではそれらを身につけるため、9月上旬からの3週間、ブロック大学の I.E.L.P. (Intensive English Language Program: 英語集中講座) に人文学部2年次以上の学生約 25 名を派遣しています。英語圏の大学での就学に必要な英語運用能力を習得することが主要な目的ですが、ホームステイやナイアガラへの小旅行・ワイナリー訪問・カナダスタイルのキャンプファイヤーなどの文化活動を通じて、カナダの文化・社会などの知識を得られることも収穫の一つです。

また、研修を通じて多文化主義を実体験できることも特徴です。研修期間中、学生たちは、フランス系カナダ人や、メキシコ、中東、アジア各国からの留学生を中心とする多様な文化的背景を持つ人々と授業を受けることになります。さまざまな国の学生たちと友好を深め、視野を広げる機会になり、積極的な授業参加や発言の場ともなっています。

【授業内容例】

- 受講生はプレイスメントテストにより6つのレベルに分けられ、それぞれのレベルでリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング、グラマーの5科目を3週間にわたって受講します。
- 2002年度からは、「国際文化演習」を半期2単位の授業科目として位置付け、単位認定については、研修終了後にブロック大学より各学生の成績評価が送られ、委員や引率教員の評価に基づき、学部教授会にて認定しています。

ブロック大学キャンパスマップ



国際交流委員会からの情報【研修までの流れ・結団式など】

■研修までのながれ

- | | |
|-------|---|
| 4月中旬 | ●第1回説明会
(プログラム紹介&仮申込書の説明) |
| 下旬 | ●仮申込締め切り |
| 下旬 | ●第2回説明会
(本申込書《本学&ブロック大学》の説明) |
| | |
| 5月中旬 | ●本申込締め切り |
| 中旬 | ●参加者発表 |
| 下旬 | ●第1回オリエンテーション
(スケジュールの案内&パスポート申請についてなど) |
| | |
| 6月中旬 | ●ブロック大学への申込書提出 |
| 下旬 | ●第2回オリエンテーション
(保険、外貨両替についてなど。引率者紹介) |
| | |
| 7月下旬 | ●第3回オリエンテーション
(過年度参加学生による質疑応答、英語表現の確認など) |
| | |
| 8月下旬 | ●第4回オリエンテーション&結団式
(ホストファミリー情報、最終注意事項など) |
| | |
| 9月上旬 | ●研修実施 |
| | |
| 10月下旬 | ●報告書提出
(研修を終えてのエッセー) |



●仮申込用紙



●パスポートとHomestay Tips冊子

■第4回オリエンテーション&結団式 [2012年8月29日]



ESL 授業【プレースメント・授業内容・修了式等】

ESL クラス 平日 午前 8:00 ~ 午後 4:00

この時間内で基本的に授業を行います。アクティビティなどスケジュールによって変更も有り得ます。

学生は、5つ（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング・グラマー）のクラスを受講します。

●自身のレベルに応じて学習

プレースメントテストのあと、レベル0（英語入門クラス）からレベル5（大学入学準備クラス）までの6つの段階に習熟度別にクラス分けされます。

●海外あらゆる国からの学生と共に学習

アジア・中東・中米・南米などから来ている学生たちと共に学びます。

●授業は、英語だけを使用

世界中から学生が集まるため、お互いにコミュニケーションを図る際は、英語を使用しなくてはなりません。授業中だけではなく、大学構内では他の言語を使用せず、英語だけを使うよう勧められています。

●授業は、主に一般教養

多くの学生の目標は、一般学生としてブロック大学に入学できるような高いレベルのクラスを修了することです。もちろん、講師はできる限り楽しい内容の授業を行います。かなりの量の課題もあり、正確さ、流暢さに重点をおきます。



さまざまな国からの学生たちと共に学ぶ ESL 授業のようす

【リスニングクラス】

中級レベルは、会話・インタビュー・簡単な講義などを聞きとります。上級レベルの学生は、講義形式による一般的なリスニングを受講します。最上級レベルのクラスを修了するころには、学部講義科目を受講しながらノートをとることができるようになります。

【スピーキングクラス】

中級レベルでは、日常生活や日常会話を再現するようなスピーキング課題が中心です。上級レベルの学生は、学術研究発表を行います。

【リーディングクラス】

中級レベルは、一般的な理解力や語彙力を伸ばすことを目指します。上級クラスでは、批判的理解に焦点を合わせています。また、すべての学生は速読クラスに参加します。

【ライティングクラス】

初級レベルは段落構成を学び、中級レベルは小論文を書きます。上級レベルは、参考文献や引用リストも用いながら、論拠の明確な論文のまとめかたを学びます。

【グラマークラス】

すべてのレベルで、英文法の理解力を深めていきます。正確で適切な表現を用いながら文法構造を身につけていきます。



ESL 授業

アクティビティ 【トロント小旅行・遠足等】

より流暢な英語力を身につけるには、教室で英語を学ぶだけでは不十分です。そのため、アクティビティは、ブロック大学 ESL プログラムの重要な要素です。さまざまなアクティビティが、授業終了後や土曜日など、ほぼ毎日行われます。アクティビティに参加する中で、学生たちは授業で学んだ英文法や英単語を実践的に聞く機会に恵まれます。また、アクティビティを通じて、適切な英語の使い方を実際に経験していきます。そしてそれは、もちろん多くのカナダ文化に触れる機会にもなるのです。

いくつかのアクティビティは、すべての留学生に提供されています。たとえば、ナイアガラの滝を訪れること、レイクサイドパークでバーベキューを楽しむこと、ボーリング、スポーツ観戦などです。他方、ナイアガラ・オン・ザ・レイク観光や、セントキャサリンズ美術館への訪問などは、北海学園大学の学生にのみ提供されています。最大かつもっとも楽しいアクティビティは、トロントへの日帰り旅行です。学生たちは少人数のグループに分かれ、それぞれで市内を散策します。

これらのアクティビティ（年によって変わる可能性もありますが）の基本的な費用は、すでに旅行代金に含まれています。学生たちは通常、大きなツアーバスか小さな黄色いスクールバスに乗って移動します。バスに乗り遅れないよう、自分自身できちんと時間管理をすることも大切です。

アクティビティ管理者からは、さらに追加でブロック大学キャンパス内や周辺で行われるアクティビティについても案内されます。北海学園大学の学生は、ブロック大学の正規学生と共に、募金のボランティア活動を行ったり、無料コンサートや、キャンパス内のパブで行われるパーティーなどに参加したりすることもできます。

これらのアクティビティへの参加は、友達作りやカナダの文化を学ぶこと、英語への没頭、また単にリラックスして楽しむことなど、多くの機会をもたらしてくれるでしょう。



ナイアガラの滝を訪問

●アクティビティ時刻表 [ブロック大学にて研修:2012年9月4日~21日]

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
2	3 Civic Holiday - University is closed	4 8:00 Meet at the International Centre (IC) for registration & welcome social 9:00 Walk with Brock staff to the Entrance Exam 9:30 Write entrance exam 11:30 Enjoy a welcome pizza lunch with your new classmates & teachers 12:30 Attend Part 1 of Orientation 4:00 Return home on city buses 7:30 O-Week show: Comedians perform at Isaac's Pub (on campus)	5 10:00 Attend Part 2 of Orientation 11:00 Board bus at the International Centre to go to Niagara Falls for the welcome lunch & free time by the Falls 5:00 Board Bus for Return to St.Catharines 6:30 Meet at the Brock Tower to experience a Canadian-style campfire. Roast marshmallows on the fire & meet other international students! 6:30 O-Week: BOC Mocktail Party (free snacks & non-alcoholic drinks) - Isaac's Pub O-Week Concert: DJs Steve Angello & luminary mafia man at Isaac's Pub (\$40 tickets @ the door)	6 8:00 - 4:00 Classes *Free time in the afternoon & evening* First "Pub Night" of the year in Isaac's Pub. Bring your passport and Brock ID card, must be 19+	7 8:00 - 4:00 Classes 5:00 - 7:00 Annual International Students BBQ at Lakeside Park in Port Dalhousie Note: Take city bus #1 or #6 from the downtown bus terminal to go to Lakeside Park (dinner served at 5:30 - don't be late!) 6:00 - 8:00 Paint Party in Weatherstation Field (must sign up in advance) 7:00-11:00pm: Open Mic Night in Jubilee Court 9:00 - 1:30 All Ages Party - DJ Arion performs at Isaac's Pub (\$10 entry at doors)	8 8:00 Shineday 2011 - volunteer with Brock students to raise money for charity - Eat a free breakfast, get a free t-shirt and help wash some cars!! Money is raised for Cystic Fibrosis research 6 am-1 pm: Visit St.Catharines Farmers Market at 91 King St 1:00 Board bus at Garden Park Street for a trip to Niagara Falls & ride on Maid of the Mist 6:00 Board bus to go to 'Oh Canada Eh?' Dinner show 9:00 Board bus for return 8:00 - 1:00 Concert at Isaac's Pub (\$10 at door)
9	10 8:00 - 4:00 Classes 4:00 Board bus to go to the St. Catharines Museum - Learn about the Welland Canal and some local history Shoppe until 5, museum until 5:30	11 8:00 - 4:00 Classes 11:00 Join the Conversation Café! If you have a break at 11:00 - meet in IC 207. *Free time in the afternoon & evening*	12 8:00 - 4:00 Classes 4:30 Meet at the bus terminal for a "Downtown Walking Tour"	13 8:00 - 4:00 Classes Board bus at 4:00 to go bowling at Parkway Lanes 7:30 Free concert at Brock - Great Lake Swimmers with Daniel Romano **Must get tickets in advance - go to the Box Office**	14 8:00 - 12:00 Classes - You are excused from your afternoon classes today 1:00 Board buses at International Centre to go to Niagara-on-the-Lake for a winery tour and visit to Fort George, a national historic site 5:00 Board buses for return to Brock	15 6 am-1 pm: Visit St.Catharines Farmers Market at 91 King St - visit the interactive "Apples & Cider" event table 2:00 Meet at the downtown bus terminal to tour "Art City" and participate in interactive events 5:00 Enjoy a packed picnic dinner at Montebello Park 7:00 Niagara Icedogs Hockey Game vs. Sudbury Wolves
16	17 8:00 - 2:00 Classes - You are excused from your 2 & 3 o'clock classes today 2:15 Meet at downtown bus terminal, walk to City Hall to meet St. Catharines' Mayor Brian McMullan	18 8:00 - 4:00 Classes 4:15 Meet in Student Lounge to hike at the Glenridge Naturalization Site	19 10:00 Board bus at the International Centre for an all-day trip to Toronto. Tour the CN Tower and then enjoy free-time 7:00 Board bus for return to St.Catharines	20 8:00 - 4:00 Classes *Free time in the afternoon & evening*	21 11:00 Closing Ceremony 12:00 Board bus to go for a Farewell Lunch at a local restaurant 7:00 *Free concert in Montebello Park* Elise Legrow & Platinum Blonde perform for the Niagara Wine Festival	22 9:00 Meet at the International Centre for return trip to Japan

Activities are subject to change **Events listed in BLUE are optional & therefore "go on your own" (not an ESL event)**

REPORT

ブロック大学研修報告●引率教員 人文学部教授 岩崎 まさみ

概要

24名の学生と2名の引率者は9月3日に羽田を経由して成田国際空港を出発して、同日にカナダ、セントキャスリンズ市ブロック大学インターナショナル・センターに到着し、センター・スタッフとホストファミリーの歓迎を受けた。学生たちは時差ボケのまま、次の日にプレースメント・テストを受け、レベル4・3・2・1、さらにその下のPrepのレベルに振り分けられた。Prepの2人の学生は授業内容が簡単すぎることから、レベル1へ移る様に、担当講師からアドバイスを受けたが、クラスメイトとすでに仲良くなっていることなどの理由で、学生自身の判断でPrepに留まることとなった。

本格的な授業は6日(木)から始まり、学生たちは朝8時から午後4時までの時間帯に、休憩や昼食時間を含めて、それぞれの時間割に沿って授業を受けた。時間数としては、1クラス50分として、それぞれ英語の4スキルを受講した。その他にインターナショナル・センターでは「アクティビティ」と称して、様々な課外行事を企画し、歓迎ピクニックに始まり、ナイアガラの滝やトロントへの小旅行、ワイン工場への見学旅行、ジョージ砦やナイアガラ・オン・ザ・レイクへの歴史研修、週末のボランティア活動など、カナダ・オンタリオ州ならではの特徴あるプログラムが用意されていた。また4時以降、全ての学生たちが授業を終わった後に、ポーリングやアイスホッケーを見に行ったり、市内見学なども企画されており、これまでと同様に充実した研修を行う事ができた。

本年度のホームステイ・プログラムは大きなトラブルもなく、学生たちの評価も全般的に良かった。例年であれば、食事が貧しいホームステイ先などもあるが、本年度はそのような事例もなく、ホストファミリーが工夫をこらして留学生を受け入れる努力をしていることが感じられた。学生たちはそれぞれの家のハウスメイトとも上手く付き合っている状況だった。

日中、日韓関係が緊迫している政治情勢の中で行われる海外研修であり、ブロック大学の留学生には中国・韓国からの来ている学生も多いことから、それらの学生たちとの関係を心配したが、特筆すべき問題も起こらず、一安心であった。学生たちがインターナショナル・センターを出発する日の朝は、土曜であるにも関わらず、多くのクラスメイトが見送りに来てくれ、その中に中国や韓国の学生たちが多くいたことから、北海学園大学の学生たちが短期間であっても国家間の政治的対立に惑わされる事なく、友人として心を通わせることが出来たのだと思う。

学生の様子

ブロック研修1週目は学生たちの間にいろいろな戸惑いが見られた。特に最初の日はオリエンテーションやプレースメ

ント・テスト、学内ツアーなど、次々にスケジュールが展開し、またどこへ行っても長い待ち時間で、学生の疲労度は高かった。英語を使う環境への適応やホストファミリーとの出会い、ブロック大学への行き帰りの混乱など、戸惑いの要因は多様であるが、3～4日が経過する頃に学生たちの間に、落ち着きを感じられるようになり、最初の週末を過ぎると、学生たちはほぼ問題なくブロック大学での生活に慣れた様子であった。

2週目頃から、北海学園大学の学生たちと海外からの留学生のクラスメイト、また日本の他大学(法政大学、桜美林大学、関西外語大学)の学生との交流の様子が見られ、新しい友人たちと歓談、ショッピングなど、英語を共通語とする新しい人間関係を作る意欲的な姿勢が見られるようになった。3週間の研修の中でも、2週目が唯一、フルに勉強できる週であり、学生たちは課題に追われつつも、ブロック大学での研修を楽しんでいた。

3週目は最後の週であることから、学生たちはホストファミリーとの時間を大切にする傾向が見られた。24名の学生とそれぞれのホストファミリーとの関係は多岐にわたり、家族の一員として親密になっている学生もいれば、ほぼ下宿屋のような環境で過ごしている学生もいたが、引率教員がジムで学生たちとスポーツをするなど、その差を埋める役割を果たせた事は良かったと考える。3週間を通して、24名の学生は忘れ物や遅刻などなく、引率者が介入しなければならないような問題を起こす事なく、健康で楽しく過ごす事が出来たことを報告する。

研修成果

他国に比べて、英語運用能力が低いとされる日本人だが、北海学園大学の学生たちが他の留学生たちと限られた英語力を駆使してコミュニケーションをとっている様子を見ると、日本における英語教育の在り方そのものを考えさせられた。相手に自分の意志を伝える手段として英語を使うことの経験を通して、学生たちは英語の本来の機能を経験的に知り、英語の面白さを発見する。お互いに流暢ではない英語を介して意志の疎通を図り、そこからお互いを信頼しあう関係を築いていく学生たちの様子に、ブロック研修の真の成果があったと思う。

今後の課題

10年続いてきたブロック研修は、新たな展開をするべき時を迎えていると考える。日本の他大学から来ている学生たちは、ブロック大に3カ月滞在して、IELPの1セッションを終了する。北海学園大学の学生たちは今後、3週間の研修プログラムに加えて、1セッションを終了できるプログラムを加えるという、発展的な拡大が必要であると考えている。

海外研修事業の歴史

■人文学部国際文化演習(ブロック大学研修)実施一覧表

	研修期間	引率教員	参加学生数	委員
第1回	平成12(2000)年度 7月7日～8月13日	宝利尚一 米坂スザンヌ	18名 (男子7名、女子11名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ
第2回	平成13(2001)年度 7月8日～8月12日	井上真蔵 岩崎まさみ	22名 (男子5名、女子17名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ
第3回	平成14(2002)年度 7月7日～8月11日	桑原俊一 上野誠治	20名 (男子3名、女子17名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ
—	平成15(2003)年度 SARSの流行により中止			米坂スザンヌ 岩崎まさみ 大石和久
第4回	平成16(2004)年度 9月4日～9月26日	米坂スザンヌ 岩崎まさみ	25名 (男子2名、女子23名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ
第5回	平成17(2005)年度 9月4日～9月25日	栗原豪彦 米坂スザンヌ	24名 (男子4名、女子20名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ 中川かず子
第6回	平成18(2006)年度 9月3日～9月24日	中川かず子 イアン・マンビ	20名 (男子6名、女子14名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ 中川かず子
第7回	平成19(2007)年度 9月2日～9月23日	上野誠治 池内静司	22名 (男子4名、女子18名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ 中川かず子
第8回	平成20(2008)年度 9月1日～9月21日	桑原俊一 本城誠二	23名 (男子0名、女子23名)	岩崎まさみ 上野誠治
—	平成21(2009)年度 世界流行のインフルエンザにより中止			岩崎まさみ 上野誠治
第9回	平成22(2010)年度 9月5日～9月26日	岩崎まさみ ウィリアム・ケイ	27名 (男子5名、女子22名)	米坂スザンヌ 岩崎まさみ 中川かず子
第10回	平成23(2011)年度 9月4日～9月25日	田中洋也 ウィルマ・ルース	26名 (男子5名、女子21名)	米坂スザンヌ 寺田吉孝
第11回	平成24(2012)年度 9月3日～9月23日	岩崎まさみ ジェレミ・ブシャー	24名 (男子8名、女子16名)	米坂スザンヌ 田中綾



平成24年度の修了式



参加学生修了証書

ESSAY

参加者エッセー

江口 千尋

EGUCHI Chihiro

1 部英米文化学科 2 年



考え方が変わった国際文化演習



1. 現地で感じたこと・学んだこと

私はカナダで文化や考え方の違いをととても感じました。例えば、バスを乗るときはみんな *Good morning* や *Hi!* など言って、降りるときはもちろん *Thank you* と言います。お店に入ったら必ず *How are you?* と聞かれ、お会計の後には *Have a nice day!* と言われます。人と人とのコミュニケーションが本当に感じられる国でした。また、みんなフレンドリーで優しい人が多いと感じました。私たちが笑いかけたら、向こうも笑いかけてくれます。人がたくさんいてバスに乗れなかったら先にどうぞと譲ってくれます。

私が特に驚いたのはバスに乗ってきたおじいさんが運転手さんにコーヒーをプレゼントしていたところです。日本もとても優しい方が多い国ですが、カナダはさらに人の優しさを感じられる国でした。

2. この経験を今後どのように生かしていきたいか

私は3週間ブロック大学の学生としていろいろな国の学生と勉強しましたが、他の学生よりも英語で話す、自分の伝えたいことを伝える力が衰えていると感じました。この経験を生かして、私は普段の授業や先生との会話にもっと英語を使っていきたいと思います。また、旅行・留学・ボランティアいろいろな方法で海外に行きもっと世界を知って視野の広い人間になりたいです。

3. これから国際文化演習に参加する方へのアドバイス

参加するアドバイスとして、本当にたくさんの人とコミュニケーションをとることをおすすめします。先生でも学生でも日本人でも外国の方でも誰でもいいです。老若男女たくさんの方と接することで私は英語だけではなくたくさんのことを学びました。特にホストマザーとの会話は英語の勉強になり、仲も良くなれるので私は家では常にリビングルームにいてホストマザーとテレビを見ながら話をしていました。



私はこの国際文化演習が初めての海外で不安だったのですが、一緒に行った北海学園の先生・学生、ブロック大学の先生・スタッフ、ホストファミリーみなさんに支えられてとても充実した生活を送れました。また、3週間の中にたくさんのプログラムがあり充実した毎日を送ることができました。今回、海外に行ったことで今までより視野が広がり自分にとってとてもいい経験になりました。国際文化演習に行って本当に良かったです。



田中 久寛

TANAKA Hisahiro

1 部英米文化学科 2 年



「価値観を変えた3週間」

この3週間の経験は英語学習のモチベーションを向上させただけでなく、価値観をも変化させた。もっとたくさんの人と英語で話したい、英語を使った仕事がしたいと思うようになった。もちろん、最初は自分の英語が通じなかったり、異文化の中でわからないことがあったりして不安になったことはあったが、日がたつにつれ環境になれることで自分の英語が通じたという喜びに変化していった。

ホームステイ先はホストマザーに中国人のルームメイト二人であった。ルームメイトの二人は何年もブロック大学に英語の授業を受けに来ているので、わからないことがあれば親切に答えてくれて、暮らしやすかった。彼らとはいまでもフェイスブックで連絡を取り合っている。

大学ではアジア系の人が多く、過半数が中国人であった。驚いたのは、日本文化や日本語をたくさん知っていたことだ。AKB が好きな人もいたし、長崎や東京、札幌など日本のさまざまなところを観光したことのある人などがおり、聞かれて答えられないような質問が出てきたこともあったので、日本文化をもっと理解しなければならぬと考えさせられたほどである。また、中国人や韓国人がとても流暢に英語を話していたことも驚きだった。授業でディスカッションをしたときは、スピードについていけなかったことがしばしばあった。彼らともフェイスブックで交流を続けている。

最後に、日本の家族、引率の岩崎先生、ブシャー先生、カナダのブロック大学の先生方、ホストファミリー、ルームメイト、クラスメイトなど、出会ったすべての人のおかげで充実した3週間を送れたことに心から感謝したい。この経験を忘れず、今後の英語学習や学校生活に生かしていきたいと思う。そして、来年以降もぜひ多くの人に参加してもらい、カナダでしか学べないことを学んで欲しい。



写真の1枚目は、先生と、2枚目はクラスメイトとの1枚。



ESSAY

参加者エッセー

稲葉 順子

INABA Junko

2部英米文化学科3年

経験、そして変化



「三週間元気に過ごしてきたよ。丈夫に育ててくれてありがとう。」こんな照れくさいことを素直に両親に伝えることができたのも、留学を通して少し成長できたことの一つかなと思います。ここでは他に3つの変化を報告します。1つ目は、英語に対する意気込みです。正直、滅茶苦茶な私の英語でしたが、それでも不思議と相手の人はちゃんと私が伝えたいことを理解してくれ、ホームステイ先や Brock 大学での人々との交流は本当に楽しいものでした。異文化交流に大切なのは、互いの気持ちを通じ、それで互いが笑顔になることだと気づきました。また、中国や韓国の人達と

も、英語で交流ができるのです。そんな“世界共通言語である英語”の存在・偉大さを知った時、「世界中の人達ともっとたくさん会話をしたい」という思いが強くなり、それを胸に英語の勉強に一層力を入れていきたいと思いました。2つ目は、北海学園大学での講義に対する姿勢です。Brock 大学での講義で自信を持って発言する学生達の積極性にはかなり影響を受け、後期が始まった今、私も英語の講義では積極的に発言するよう心掛けています。緊張しますが、それによって講義がスムーズに進んだり、より内容が理解しやすくなったりと、(眠くならないし!)とても充実しています。特に外国の先生の講義は、日本にいながら、Brock 大学のような講義が受けられるという貴重な機会なので、本当にありがたく思います。3つ目は、人見知りがかかなり緩和したことです。その理由は、カナダにいる間、怖がって何もしないでいては絶対に悔いが残ると思い、とにかく積極的に様々な国の人に話しかけに行っていたことにあると思います。言葉の壁がある中で、それでも毎日たくさんの人達と交流し、笑顔で過ごしたことは、大きな自信につながりました。留学は、新たな自分や世界に出会えるキッカケにすぎません。それを人生の中でかけがえのない経験にするかどうかは自分次第だと思います。



ESSAY

参加者エッセー

幡本 航

HATAMOTO Wataru

2部英米文化学科2年



フレンドリーなみんなに囲まれて

「なんて素晴らしい国なんだ！みんなとてもフレンドリーで自分もこのような国で住んでみたい！」そう思った私は、今回の国際文化演習に参加して本当によかったなと思っている。

私がこのプログラムに参加しようと思ったきっかけは、以前からカナダに興味があり、現地に行ってどれだけ英語が通用するのか、また他国の学生やカナディアンの文化を深く体験し、逆に日本という国の文化をどう捉えられているのか知るため参加を決めた。実際にホームステイ先やブロック大学で、現地のカナディアンやほかの国の学生との交流の中でさまざまな見えない文化を体験してきた。

ある日、ルームメイトであるブラジリアンと一緒にディナーをとっているとき、久々にそのときの夕食にお米が出たので、私はテンションが上がり勢いのあまり日本のスタイルでの食べ方（茶碗を手持って箸でご飯をほおばる食べ方）をしていた。そのようにして食べていたらルームメイトのブラジリアンが面白おかしくこっちを見てケラケラ笑ってきた。私が「何がおかしいの？」と尋ねると、笑いながら「その食べ方おかしいよ、ドラゴンボールの孫悟空みたいだ。」と言ってきた。確かに、彼はいつもフォークとナイフを上手に扱いながら食べているなど感心していたものだから、自分の食べ方がいかにおかしいかがわからなくなかった。しかし「日本ではこの食べ方が一般的だよ。」と伝え、とても納得した様子で、「日本の料理は器が小さいからその食べ方でも悪くないね。」と言ってきた。このように“食べる”という人間として生まれつきの習慣の上にあるアイデンティティのよりどころによって、このようなカルチャーショックが起こるのだなと現地に行って実感した。

さらに私がカナダに行って感じたのが、とにかくみんなフレンドリーに接してくれたことだ。英語が通じないことやカルチャーショックを受けたりすることがあたりまえのように多々あったが、それでもみんな気さくに接してくれて、日本にはない優しさや温かみを感じた。また反対に、日本人はとても礼儀やマナーを重んじる国であることに気づき、日本人として誇りに思えることも見つかった。

私は今回の研修でたくさんの人と出会い体験し、また来年いつか海外へ行きたい、そう思っている中身の濃い3週間になったなと思っている。



Why Brock?

An Interview with
Norma MacSween, Director of ESL Services, and Stephanie Soccio,
Assistant Director, Student Affairs

By Jérémie Bouchard, Faculty of Humanities

From September 3 to September 23 of this year, Professor Masami Iwasaki and I had the privilege of accompanying 24 HGU students to Brock University, St. Catharines, Canada. These three weeks of cross-cultural exploration and intensive language learning were an experience our students are not likely to forget. Of course, living in a foreign country is perhaps the best way to master English. But it also allows us to explore new aspects of our personality and deepen our understanding of communication in general.

In order to provide more background knowledge, and hopefully encourage students to take part in this program in the years to come, I interviewed two staff members at the Brock University International Center: Dr. Norma MacSween, Director of ESL Services, and Stephanie Soccio, Assistant Director, Student Affairs. Below is the summary of our conversation.



Jérémie Bouchard
Faculty of
Humanities

The HGU-Brock University short term study program started 12 years ago, and since then, the program has been a resounding success. For approximately three weeks, HGU students who join this program are integrated in the larger Intensive English Language program (IELP) at Brock. This program welcomes students from many different countries to study English. Some stay in the program for a few months and others stay for up to a year. This year, the IELP serves over 400 international students, and employs almost 60 teachers, student service officers and cultural assistants.



Norma Mac Sween
Director,
ESL Services

These three weeks of intensive studies at Brock are a great opportunity for HGU students to experience a different kind of classroom language learning context. The ESL program at Brock emphasizes students' individuality by allowing every student to express their views in the classroom. As such, students actively share their views on various topics with other students. At Brock University, 'respectful work', 'rich learning', 'open mind' and 'personal responsibilities' are important virtues. These facilitate the development of intercultural understanding, mutual respect between cultures, and an awareness of personal choices. Because this type of development is gradual, IELP teachers prefer a step-by-step, student-centered education.

Of course, Brock University benefits significantly from such a program. Essentially, IELP brings the world to Brock. While the University already hosts a large international student population in their regular academic programs, IELP adds to this rich diversity by welcoming students who come directly from other countries to learn English. This allows the on-campus students to have direct contact with people from different cultures and learn about various cultures and ways of thinking. As part of IELP, ESL students have the opportunity to pair up with Canadian students on campus through the Conversation Partners Program. Also, events such as Conversation Cafes are great opportunities for everyone to interact with people from all corners of the world and communicate in a more casual fashion.

There are so many things to do during these three weeks. During weekdays, HGU students are placed in various classes. They study the four main skills through challenging classroom activities and direct exchange with people of different cultural backgrounds. Every class is conducted so as to make sure that students understand clearly what to do and what their responsibilities are. Students are strongly encouraged to use English at all times and to mix with everyone in class. After class and during weekends, many special activities are organized to encourage further exchanges between students. These include wine tours, historical excursions, various sporting activities, arts & crafts fairs, picnics, and beach activities. Of course, students have many chances to enjoy shopping and appreciate the life in downtown St. Catharines. There are also valuable opportunities for everyone to discover the unique natural features of St. Catharines and the Niagara Region. Three of the most popular destinations are the world famous Niagara Falls (simply awe-inspiring), the gorgeous little town of Niagara-on-the-Lake, and the dynamic and cosmopolitan city of Toronto. In other words, this three week program at Brock allows students to discover the world and the local areas around Brock University.



ブロック大学 ESL Services 担当者グループ



セントキャサリンズ博物館にて

Let's not overlook perhaps the most important aspect of this program: the homestays. By being placed in different host families and adopting the routines of a Canadian family, HGU students can experience an important side of life in Canada. In short, staying in a host family offers an ideal chance for students to develop and apply cultural knowledge in real life.



セントキャサリンズ市長訪問



レイクサイドパークでのバーベキュー

There is no doubt that this three week study program at Brock University offers so many chances for both academic and personal development. Once IELP students come back to their home country, they use social media to communicate and keep in touch with host family members and Brock friends. That way, they forge long-term friendships with the many people they have met during their time in St. Catharines.

In short, these three weeks are filled with extraordinary and unforgettable experiences. If you are wondering whether you should join in next year's three week program at Brock University, ask any of the 24 HGU students who just came back. They are sure to tell you not to miss this once in a lifetime opportunity.



国際文化演習ブロック大学
報告書2012



平成25年3月発行

北海学園大学 人文学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

TEL: 011-841-1161 (内線2132)

FAX: 011-824-7729

北海学園大学 URL: <http://hgu.jp/>

北海学園大学人文学部 URL: <http://human.hgu.jp/>

edit: Labbott